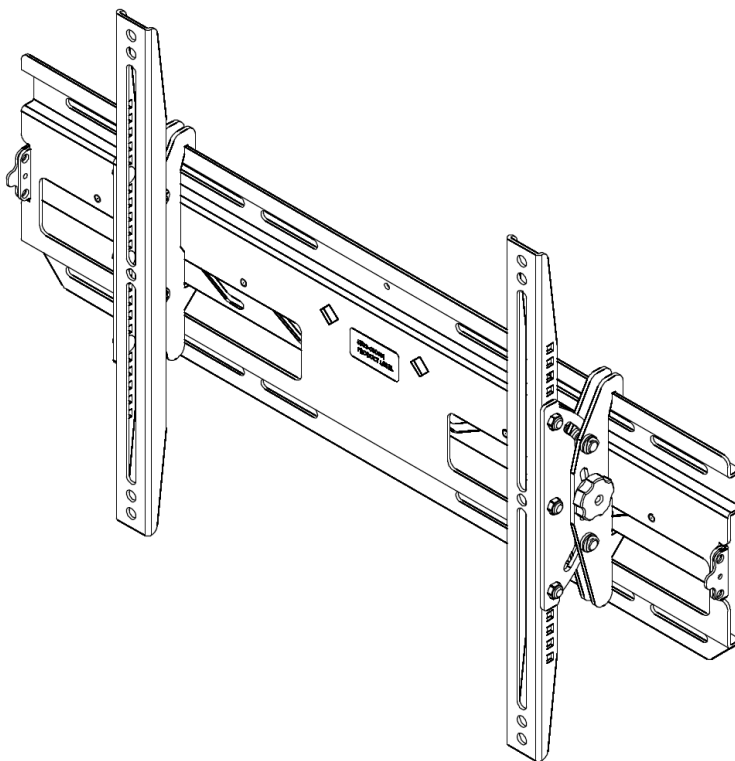


取扱説明書



壁掛けディスプレイマウント 型番 ODMLT



このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。

必ずお守りください。

設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。

お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

- お客様の安全のため、取付場所の強度には機器本体含むディスプレイおよび金具類の合計重量の少なくとも5倍に耐えるよう十分注意のうえ、設計施工を行ってください。
- 作業は必ず2名以上で行ってください。
- 取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を確実に取り付けてください。
- 壁面の構造や材質によっては補強さんや補強板をいれるなどして適切な施工方法を採用してください。

安全上のご注意

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重大な事故を負う可能性が想定される内容を示しています

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容あるいは物的損害の発生の可能性がある内容を示しています

- ⚠ 警告：部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。
- ⚠ 警告：取り付けしているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり、非常に危険です。
- ⚠ 警告：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。指をはさまないようにご注意ください。
- ⚠ 警告：ディスプレイの取付作業を行うとき以外、ロック機構で確実にディスプレイを固定しているようにご確認ください。またケーブルの取付作業を行うときは、じゅうぶんにご注意ください。
- ⚠ 注意：運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

設置の前に**■設置場所について**

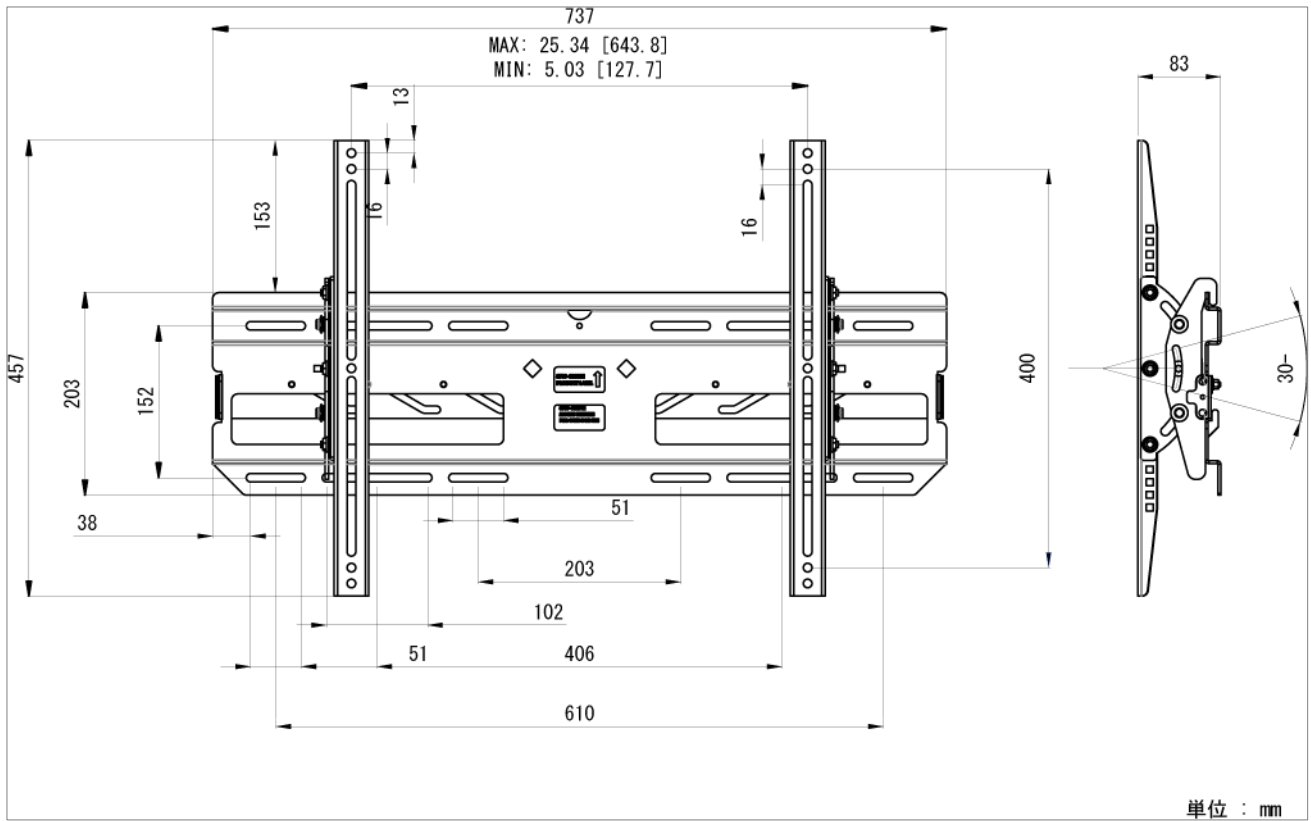
- 本製品とディスプレイを設置する構造物は、総合重量に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐えうる施工を行なってください。
- 設置の前に、ディスプレイと本製品を含めた取り付けユニットの総重量を確認のうえ、設置する壁面の強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行なってください。
- 荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造材で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な構造物への取付けは行なわないでください。幅木や受け木に直接固定しないでください。
- 開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、ケガの原因となります。
- コンクリートの壁面に取付ける場合は、総重量に十分耐えるコンクリートアンカー類を使用してください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

■設置方法

1. 各種の壁に対応したアンカー類やネジ等は、十分な強度を持ったものをご用意ください。
2. 本取扱説明書の安全上の注意の設置場所についてよくお読みのうえ、ディスプレイの壁面への適切な設置場所を決めてください。
3. 図に従って壁面への適切な下穴処理やアンカー固定を必要に応じて行ってください。
4. 壁面の強度やネジの保持強度が十分確保できるか確認してください。
5. 壁面マウントを壁面にしっかりと取付けてください。壁面マウントの取付穴上下各2ヶ所以上にバランスよく施工してください。

■各寸法図

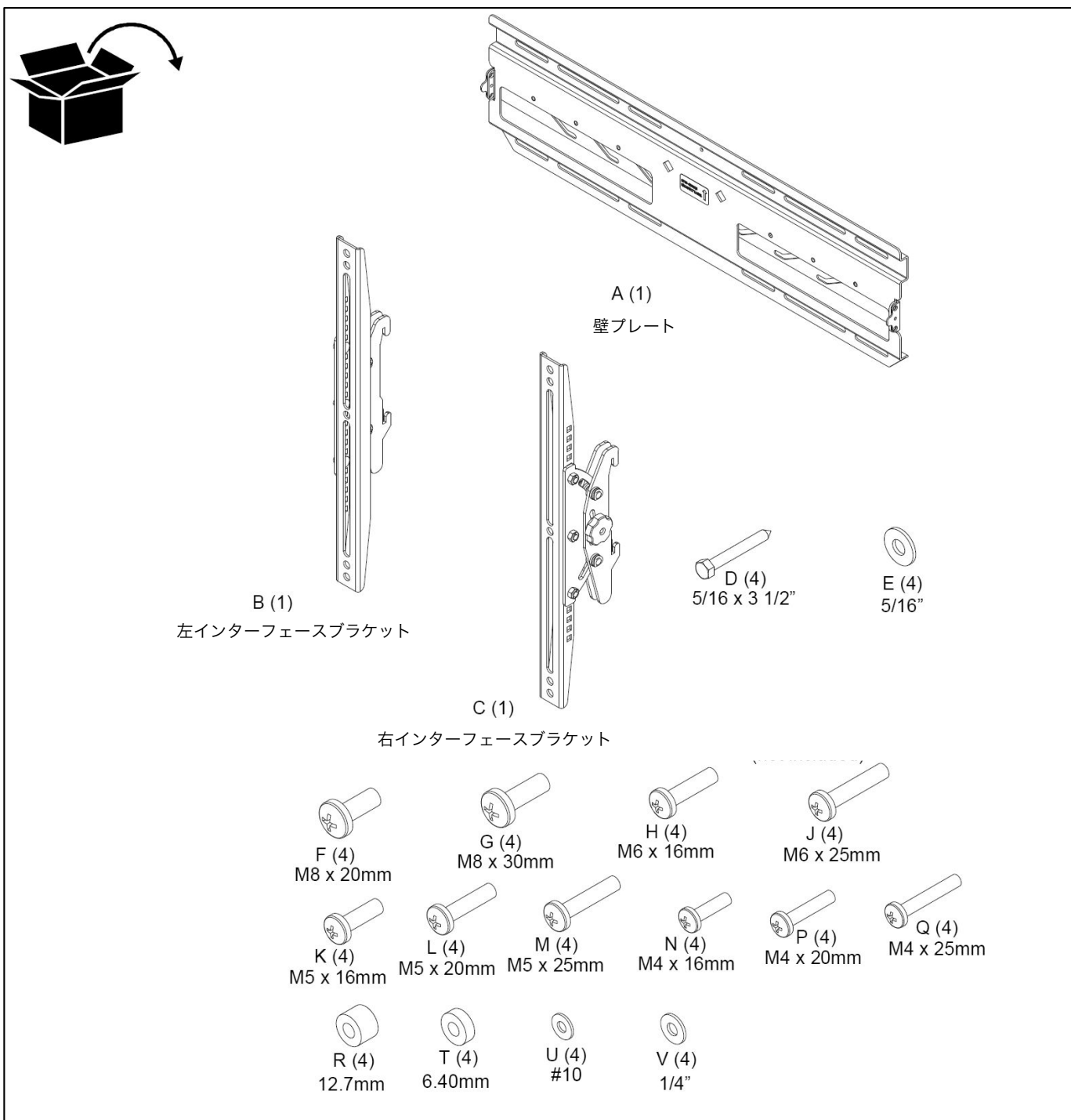


組立手順

■本体の組立に最低限準備いただく工具



■本製品の封入物

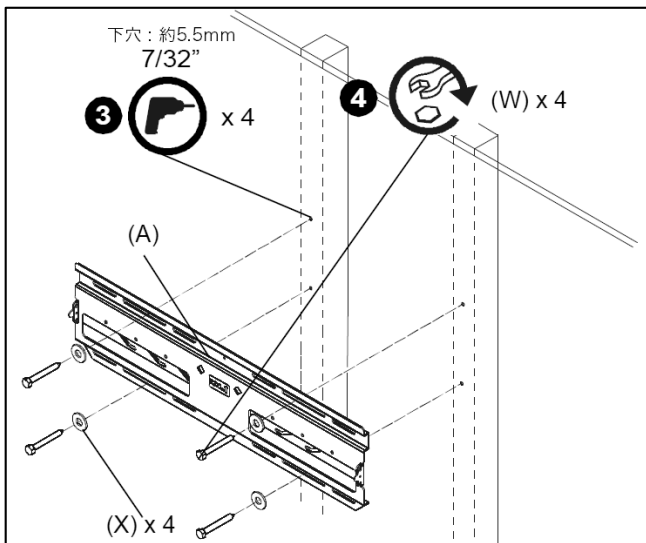


■マウントの取り付け

重要：組立て前に必ず寸法表を確認してください。
 取付けるディスプレイのサイズにより取付部品の場所などが変わる可能性があります。

! 施工業者の責任において、本製品と取り付ける全ての製品の重量の5倍に耐えられるように壁材の補強をしてください。
 最大荷重量は、80kg(175lbs)です。

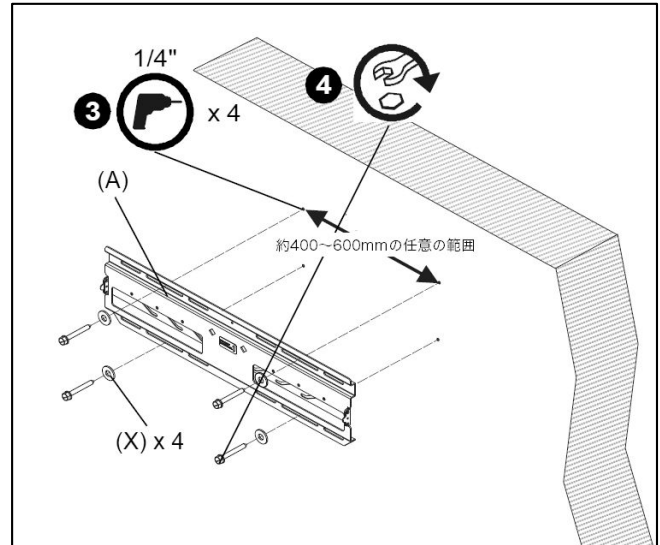
■壁面へのマウントの取付け（木壁に補強さん）



【図-1】

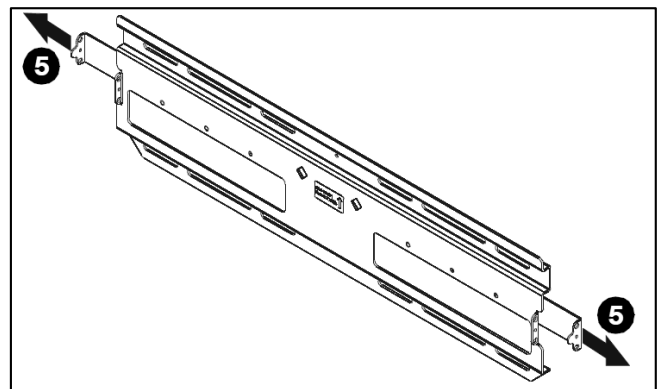
- 適切な取り付け位置を決定し、ウォールプレートを持ち上げます
 (A) を壁の取り付け位置にあてがいます。
- 中央の穴に小さな釘またはネジ（付属していません）を使用して、取り付け位置でウォールプレートを軽く支持します。（図1参照）
- ウォールプレート (A) を水平にし、ウォールプレートを固定するために5.5mmの下穴を開けます。背面の補強材の中心に穴をあけてください。（図1参照）または（図1参照）
- 4つの5/16 x 3 1/2 "ラグボルト (W) と4つの5/16" ワッシャー (X) を使用して、ウォールプレート (A) を壁に取り付けます。（図1参照）

■壁面へのマウントの取付け（コンクリート壁）



【図-2】

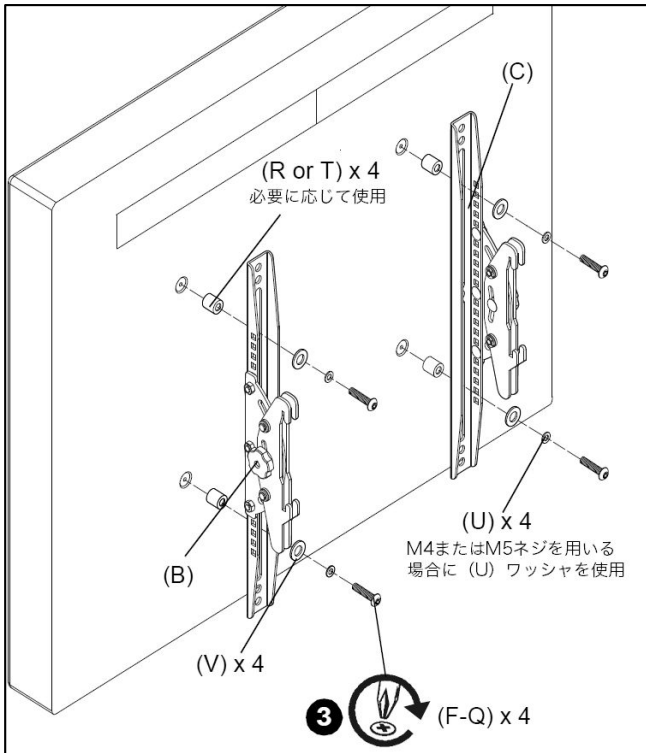
- 適切な取り付け位置を決め、ウォールプレート (A) を壁面の取り付け位置に持ち上げます。
- 中央の穴に小さな釘またはネジ（付属していません）を使用し、取り付け位置でウォールプレートをあてがってケガいておきます。（図2参照）
- ウォールプレート (A) が水平になるようにし、壁板を固定するための1/4 "パイロット穴を開けます。穴の間隔は400~600mmの間であけてください（図2参照）
- 壁材に適したアンカーと4つの5/16インチワッシャー (X) を使用して、ウォールプレート (A) を壁に取り付けます。（図2参照）



【図-3】

- ディスプレイを取り付ける準備のために、(5) ラッチをスライドさせて開けてください。

■ ディスプレイにブラケットを取り付ける



【図-4】

インターフェイスブラケットの取り付け

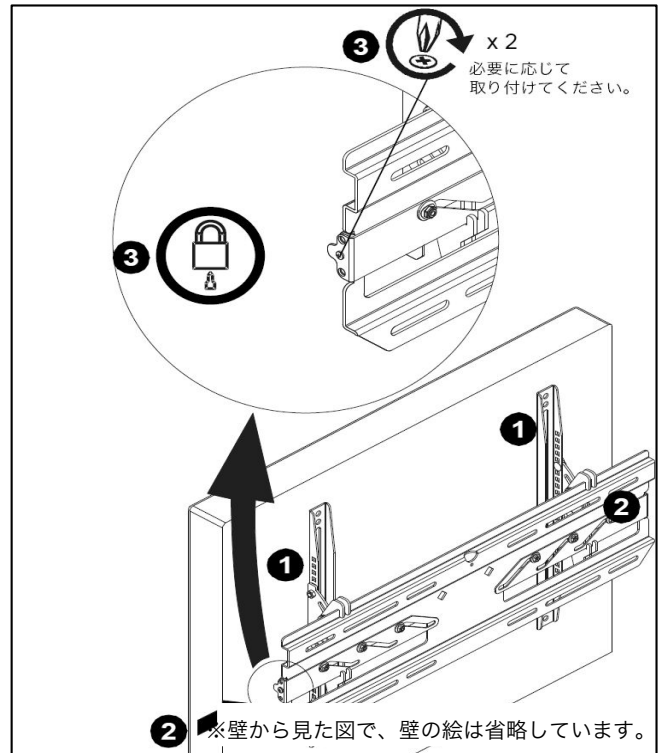
1. 平らな場所に柔らかいマットのようなもので傷などがつかないように保護し、そこにディスプレイの画面を下にして置きます。
2. 左右のインターフェイスブラケット (BおよびC) をディスプレイの背面に置き、各ブラケットのテンションノブ (B) を上に向けます (図4参照)

警告：誤った取り付けは、重大な人身事故や機器の損傷を引き起こして落下を表示することにつながります！
不適切なサイズはディスプレイを損傷する可能性があります。

注：スペーサー (RおよびT) は、取り付け穴が窪んでいる場合や、突起などを避ける場合にブラケット部分をかさ上げするために必要に応じて使用します。

3. 左右のインターフェイス・ブラケット・アセンブリー (BおよびC) をディスプレイに固定します。アプリケーションに適した取り付けネジを選択します。(図4参照)
 - ・必要に応じてスペーサー (RまたはT) を使用してください。
 - ・M6ネジ (HまたはJ) またはM8ネジ (FまたはG) と1/4"ワッシャー (V) を使用します。
 - ・M4ねじ (N、PまたはQ) またはM5ねじ (K、LまたはM)、1/4"ワッシャー (V) および#10ワッシャー (U) を使用してください。

■ ディスプレイ側ブラケットを取付ける

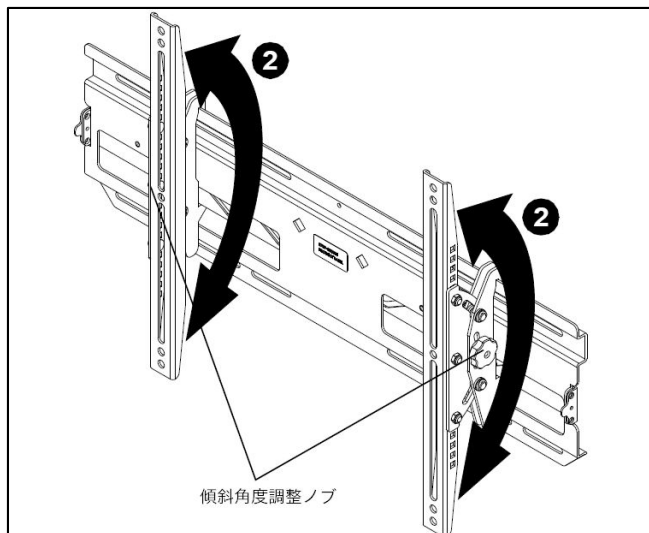


【図-5】

警告：表記の耐荷重を超えるて設置することは、重大なけがや装置の損傷を招く恐れがあります。
取付業者の責任において、ODMLTにあるディスプレイを含むすべての機器の合計重量が175 lbs (80 kg) を超えないようにしてください。

1. ブラケットのフック (BとC) を壁面プレートの上部に引っ掛けて、ディスプレイを壁面プレート (A) にセットします。(図4参照)
2. ラッチを両側に1つずつ内側にスライドさせてディスプレイを固定します。(2) ラッチをスライドさせたあと、下部のフックを下ろしてテレビを所定の位置に固定します。(図5参照)
3. 必要に応じて、セキュリティを強化するために、タッピングねじ (付属していません) および/または南京錠 (付属していません) を取り付けます。(図5参照)

■ディスプレイの傾斜角度を調整する

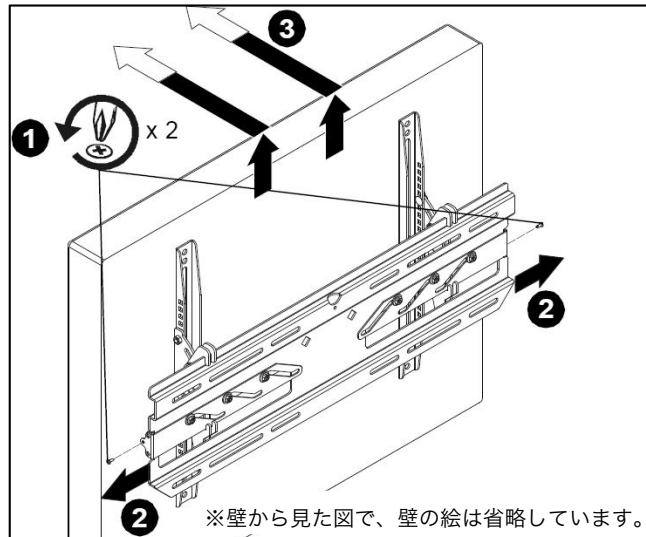


【図-6】

傾斜角度の調整（傾き調整）

1. 傾斜調整ノブを必要な張力に調整します。（図6参照）
 2. ディスプレイの上部をディスプレイから離して引っ張ってディスプレイの傾きを調整します。
- 傾斜角度は上向き、下向き各15°ずつです。
3. チルトテンション調整つまみを締めてチルト位置を固定します。（図6参照）

■ディスプレイを取り外す



【図-7】

ディスプレイを取り外すには：

注意：ディスプレイを壁面マウントから取り外す前に、電源ケーブルと映像ケーブルを外してください。

警告：ディスプレイは重く、非常に壊れやすくなっています。

装置の損傷やけがを避けるため、ディスプレイをマウントから取り外すときは注意してください。

1. セキュリティ目的で取り付けしていた、壁掛けプレートの両側からタッピングねじ、または南京錠などを取り付けていた場合は、先に取り外します。（1）
2. セキュリティラッチ（2）を両側にスライドさせて、ディスプレイを壁プレートから外します。
3. ディスプレイを持ち上げて壁面から外し、壁面からディスプレイを取り外します。（3）

<http://www.avc.co.jp/>



■ システム販売事業部

<首都圏> 〒135-0063 東京都江東区有明 3-7-18 有明セントラルタワー 8階
<関西> 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3-18-25

TEL. 03-3527-8660 FAX. 03-3527-8666
TEL. 06-6836-7827 FAX. 06-6310-6144